

開催趣旨

気候変動の影響による降水量の増大に対して、早期に防災・減災を実現するため、流域のあらゆる関係者による様々な手法を活用した対策の一層の充実を図る『流域治水プロジェクト2.0』の公表および流域治水の自分事化に向けた取組計画の公表に向け、各関係者の取組内容や全体とりまとめイメージについて、確認を行いました。

次第等

- 開催日：令和6年2月19日（月）
対面Web会議併用方式
- 開催時間：10：00～11：30
- 開催場所：岩手河川国道事務所 2階大会議室
- 議 事：
 1. 規約改定について
 2. 流域治水プロジェクト2.0の公表について
 3. 流域治水の自分事化に向けた取組計画の公表について

出席者

盛岡市、花巻市、北上市、遠野市、一関市、八幡平市、奥州市、滝沢市、雫石町、岩手町、紫波町、矢巾町、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町、北上土地改良調査管理事務所、盛岡森林管理署、森林整備センター 東北北海道整備局、盛岡地方気象台、岩手県 農林水産部、岩手県 県土整備部、岩手河川国道事務所、北上川ダム統合管理事務所

会議概要

- ・流域治水プロジェクト2.0のハード整備を全て完了するまでには膨大な時間を要するため、ハード整備がまだ十分になされない中でカスリン台風級の大雨が来ると大規模な家屋浸水被害が発生する可能性があるという認識をもち、あらゆる関係者が協働で流域治水に取り組んでいくことが必要だと思います。
- ・ハードによる防御には限界があるため、堤防ができていない地域においても、万が一のときに迅速かつ安全に避難できる準備を常日頃からしておくことが重要だと思います。
- ・流域治水プロジェクト2.0の施策が支川の氾濫や内水氾濫にどの程度効果があるのか定量的なデータが無い現状で当プロジェクトを進めていかなければならない点は難しいと感じています。
- ・上記のことを踏まえ、今回とりまとめた流域治水プロジェクト2.0について、引き続き関係者の皆様と議論を重ねながら、ブラッシュアップとフォローアップをしていかなければならないと考えています。

開催状況



近藤事務所長あいさつ



協議会 開催状況